

2024

同友しずおか3



VOL.544

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」「企業も地域もよくなった!」



私の逸品

河村養蜂場

健康と口福を届ける蜂蜜
「Honeyboy」



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらった
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒420-0857 静岡県東区藤原町1-1-1 静岡三栄ビル6F FAX/054-255-1620 Email/doyu@tsdoyu.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1109 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
わたなべ 渡邊 しゅん 瞬	TOKEN ネットワーク(株) 人材派遣業、ソフトウェア開発 (人材派遣事業、有料職業紹介事業、紹介予定派遣事業、業務請負事業 (システム開発・評価・運用に関する業務など))	沼津	長岡 善章
わたなべ 渡邊 ひろし 寛士	(株)テクノサック 金属切削加工業 (工作機械による金属切削加工)	沼津	中村 俊哉

名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
おおしま 大島 としひろ 敏浩	社会福祉法人復泉会 社会福祉業 (障害者就労支援、生活支援、相談支援)	浜松	永井 昭

※新会員の写真は e.doyu 「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyu からのご確認をお願い致します。



健康と口福を届ける蜂蜜 「Honeyboy」

河村養蜂場 (榛南支部)

代表 河村 充氏



今回の逸品「Honeyboy」

牧之原市波津で養蜂業を営む河村養蜂場を訪問しました。

祖父・父から養蜂技術を受継ぎ3代目、養蜂歴20年の養蜂家

祖父と父が行ってきた養蜂を子供の頃から見てきた河村氏。

自身も仕事をしながら養蜂を行って来ましたが、「祖父、父から受け継いだ養蜂技術を生かして、一人でも多くの方に牧之原市産の蜂蜜の美味しさを知ってもらいたい」との思いから、以前の職場を退職して養蜂技術を学びなおし、さらに静岡県立農林大学校(現、静岡県立農林環境専門職大学)で農業経営を一から学びました。

その後2017年4月より牧之原市で開業。牧之原市産のブランドはちみつを開発し、地元のスーパードなどを中心に販売しています。

こだわりの蜂蜜「Honeyboy」シリーズ

今回の逸品は牧之原市産のブランドはちみつ「プレミアムローカルハニーHoneyboyシリーズ」です。主なターゲット層である女性のお客様に対し、「Honey(恋人)」のような存在になりたいということから名付けたブランド名「Honeyboy」。

「養蜂場の周りの里山は、四季折々の美しく移り変わる姿を見せて、今も蜜蜂を通じて季節の便りを届けてくれます。私も、海も山も川もある、このまちが大好きです」と語る河村氏の蜂蜜は、日本国内での全体流通量の5%程しかない国内産。そして蜂群を連れて全国を回る「転地養蜂」ではなく、あえて「定置養蜂」による牧之原市産「百花蜜」にこだわっています。季節の移り変わりとともに蜜源となる花々が変わってくると、色

あい、香り、味わいも変わっていき、淡白でさわやかなものから濃厚で香りの強いものまで個性豊かな蜂蜜が採れるのが特徴です。

牧之原市産ハチミツを通して、お客様に健康と口福を届ける

ハチミツは高い栄養価や殺菌作用により古来より薬としても扱われるほど伝統的な健康食品。そして牧之原市の季節のうつろいを伝える百花蜜を食べること

で感じる「美味しさや自然への感謝の気持ち」を「口福」と表現し、「健康」と「口福」をHoneyboyを通してたくさんの方に届けたいという想いが経営理念に込められています。

過去には「ふじのくに新商品セレクション2019最高金賞」「優良ふるさと食品中央コンクール2020国産畜水産品利用部門 農林水産大臣賞」と2つの賞を受賞したHoneyboyシリーズ。さらに昨年に発売した新商品「HoneyboyIIお茶の花の蜂蜜」は「静岡県主催ふじのくに新商品セレクション」で金賞を受賞しました。「自信をもってお届けできるプレミアムローカルハニーHoneyboyシリーズの蜂蜜を、牧之原市を代表する農産物」の一つにし、一人でも多くの方に届ける目標にまた一歩近づいた」と嬉しそうに語り

「Honeyboy」シリーズは2つの賞を受賞

「Honeyboy」シリーズは2つの賞を受賞

「Honeyboy」シリーズは2つの賞を受賞



養蜂作業中の河村氏

「養蜂場の周りの里山は、四季折々の美しく移り変わる姿を見せて、今も蜜蜂を通じて季節の便りを届けてくれます。私も、海も山も川もある、このまちが大好きです」と語る河村氏の蜂蜜は、日本国内での全体流通量の5%程しかない国内産。そして蜂群を連れて全国を回る「転地養蜂」ではなく、あえて「定置養蜂」による牧之原市産「百花蜜」にこだわっています。季節の移り変わりとともに蜜源となる花々が変わってくると、色あい、香り、味わいも変わっていき、淡白でさわやかなものから濃厚で香りの強いものまで個性豊かな蜂蜜が採れるのが特徴です。

河村養蜂場

〒421-0523 牧之原市波津1651-1

URL : <https://hp.honey-boy.com/>

創業 2017年

社員数 1名

入会年月 2019年4月

事業内容 養蜂業

取材・執筆：中村 秀和氏
(中村醤油㈱・榛南支部)

ながら、始まったばかりの今シーズンの養蜂作業に忙しいそうな河村氏でした。



「Honeyboy」シリーズは2つの賞を受賞

会員訪問記

社員とその家族が小さな幸せを実感できる
企業を目指して

(株)中部特機設備

代表取締役 関那積氏 (静岡支部)



関那積氏

知識と提案力が強みの空調
設備工事会社

静岡市清水区大坪にある(株)中部
特機設備の関那積氏を訪ねました。

関氏は今年度、静岡同友会の女性
部副部長や青年部東海合同例会
実行委員長として活躍しています。

関氏が社長を務める(株)中部特機
設備は、1970年に関氏の父、

紀雄氏が創業。紀雄氏は1950
年代15才の時に南伊豆から清水に
出て、定時制高校に通いながら、
石炭やコークスを扱う仕事をし
ていました。70年代になると窓枠に

手軽に取り付け可能な家庭用の工
アコンが誕生し、ガスと空調機の
事業で独立。独立後も仕事一筋、
紀雄氏と二人の外注の職人で事業
を続けてきました。空調機に特化
した専門性から生まれる、その知
識と提案力が強みの会社です。

20代で家業を継ぐことを決意

関氏は大学院を卒業後、静岡市
内の一般企業を経て26才の時に家
業を継ぐことを決意し、(株)中部特
機設備に入社。畑違いの仕事だっ
たため、入社後すぐに大阪にある
ダイキン工業の研修所で数ヶ月の
間、朝から晩まで空調機について
学びました。仕事内容が営業だと
しても、積算や図面を引くために
は、空調機の専門知識が不可欠と
いいます。

関氏は自社の強みを、メーカー
に頼らずメンテナンスができる社
員の知識と技術力だと話します。
関氏だけでなく、他の社員も入社
時などにダイキンの研修所で研修
を受けて基礎を身に付け、日々先
輩社員からのOJTで技術を磨い
ています。

2020年、創業50周年の年に
社長に就任。入社当時、父と外注
の職人のみだった会社は現在社員
7名となるまでに成長しました。
入社時に2名いた外注の職人も現
在では社員として活躍しています。

外注の職人を社員として雇用した
のは、仕事として後輩の育成に関
わってもらうためです。

同友会での学び

跡継ぎとして入社するも、社外
に相談する仲間もおらず悩んでい
た頃、信用金庫の勉強会で静岡支
部の山田誠司氏(株)メイコー)と
知り合いになったことがきっかけ
で2016年に同友会に入会。入
会後は、同友会で「人を生かす経
営」や「経営理念」といった考え
があることを学びました。さらに
2022年度には第19期経営指針
を創る会を受講。同期やスタッフ
と共に悩みながら経営指針を作成
し、会社の方向性がはっきりした
といえます。

10年後を見据えた基盤作り

近年、求人にも悩む中小企業が多
い中、関氏も例外ではありません。
人が足りない場合は外注等でも対
応は可能ですが、やはり経営理念
を理解している社員や技術者が会
社には必要だと話します。今後の
展望について、「これから10年後



事務所入り口に飾られたダイキンからの表彰の数々



取材の様子

を見据え、社員が60才になっても
活躍でき、社員とその家族が小さ
な幸せを感じられる会社を目指し
たい。今はその基盤作り。会社を
継続していくことが地域のお客様
の安心に繋がり、地域のために
なっていく」と語ってくれました。

取材・記事：藤本浩氏

(プリントバリエー(株) 静岡支部)

取材：望月康仁氏

(株)エムテック・静岡支部)

(株)中部特機設備

〒424-0847 静岡市清水区大坪1-7-26

TEL：054-348-6954

URL：https://www.chutoku-air.co.jp/

設立 1970年

社員数 7名

入会年月 2016年7月

事業内容 エアコンを始めとした空調設備の設
計・施工・修理・点検・整備、個人宅・農
家・店舗・工場・病院等へ設備の導入

第2回東海合同例会

新たな出会い、新たな学び、労使見解をじっくり学び合う

静岡、愛知、岐阜を中心に各県より200名が参加

2月2日（金） ホテルグランヒルズ静岡

東海合同例会は愛知、岐阜、三重の3県の青年部や青年同友会が中心となり、同友会のめざす企業づくりの根幹である「労使見解を学ぶ」ことを目的とし、2022年度からスタート。第1回目は昨年2月に岐阜で開催しました。静岡での開催となった第2回目は、静岡から100名、その他、愛知、岐阜を中心に総勢200名が参加しました。

はじめに、本例会の実行委員長である関那積氏（㈱中部特機設備・静岡支部）より「青年経営者が同友会の王道である労使見



全体会であいさつする関実行委員長



箕氏による基調講演

解をじっくりと学ぶ時間にしていきたい。同友会の先輩から学ぶだけでなく、未来への熱い想いをぶつけ互いに高めあっていきたい」とあいさつ。続いて開催地を代表して井上斉代表理事から、各県からの参加者への感謝と同友会の歴史や労使見解が確立された歴史的背景を改めて紹介しました。

基調講演は箕威頼代表理事（㈱アサギリ・富士宮支部）が「学びの体現者たれ」同友会の王道を歩み、実践し続けたその先

に見える景色とは」をテーマに登壇。同氏が入社した頃は、就業規則もなく社員とすれ違いの日々。何においても他の会社を羨ましく感じていたと言います。変化のきっかけになったのは同友会との出会いでした。同友会活動と企業経営を車の両輪として、学んだことを徹底的に実践することで企業を成長させてきました。入社当時、兄と2名だった社員数は28名となり、地域になくはならない企業へと成長してきました。まとめで同氏は「同友会の王道を歩むとは、正しく学び、正しく実践すること。そのためには労使見解にある経営者の責任を理解し実践することに尽きる」と参加者に伝えました。

続いて行われた分科会では、第1分科会は愛知青年同友会の竹内智哉氏（㈱ペイフォワード）が「会社と社員の人生設計」に関わる人と共に歩む会社づくり」をテ



県を越えて学びあう分科会の様子

マに報告。第2分科会は岐阜同友会の山岸隼也氏（㈱山栄工業）が「経営者としての覚悟」夢を叶えるための「第一歩」をテーマに報告しました。

分科会終了後は懇親会が行われ、基調報告や各分科会の学びを振り返り、労使見解への理解を深めると同時に、県を越えた交流の機会となりました。

〈参加者感想〉

箕氏の基調報告、分科会では第2分科会の㈱山栄工業の山岸隼也氏の報告を聞くことができ、お二人のダイナミックで現場感溢れる話に、自分自身大変心を深く動かされました。特に、行き詰まりを感じた際に同友会の「労使見解」に立ち返り、基本的に忠実な経営を考慮することの重要性を再確認することができました。ダイナミックに経営を考えつつも、しっかりと地に足をつけて、原点に立ち返って学び直していくことを忘れてはならないと感じました。

県を越えた行事の参加が初めてであり、大変新鮮な体験でした。同じテーブルで交流した方々のレベルの高さに圧倒され、全国レベルでの視野を持つことの大切さを実感するとともに、非常に刺激を受けました。この例会を通じて、今後はさらに県外へ、そして全国へと活動の範囲を広げていくことが、私の次なる行動目標となりました。このような機会を与えてくれた実行委員会のみならず心から感謝すると同時に、この体験を糧とし自身の成長と会社の発展に繋げ、「刺激を与える報告者」側になるよう日々鍛錬あるのみと思っています。

望月琢矢氏（㈱左京・静岡支部）

静岡大学との意見交換会

産官学連携が地域の課題解決の糸口

2月20日（火） 静岡大学

静岡大学との意見交換会を開催しました。静岡大学からは日誦学長をはじめ11名、静岡同友会からは会長、正副代表理事ら9名が参加しました。静岡大学との具体的な連携は、1996年から開講の同友会大学への講師、1999年から開始の景況調査の執筆・分析、学習会等での講演等、多岐に亘ります。その後2008年9月に相互協力協定を締結し、主な活動としては静岡大学連携講座を行っています。

意見交換会の冒頭、井上代表理事から本会の趣旨説明を行い、産官学連携等の取組みについて紹介した後に、策代表理事と宇佐美副代表理事より経営実践報告をしました。続いて静岡大学より産学連携の取組みとして企業等の課題解決に利用できる技術相談や、企業・行政と連携して社会的要請の高い分野の研究を行うプロジェクト研究所についての紹介がありました。グローバル共創科学部の青木准教授よりCNF（セルロースナノファイバー）の最新研究について報告頂きました。



第1回となる意見交換会を開催

意見交換では、大学側から「学生の就職状況や起業に意欲ある学生が増えていること」「大学には活用されていない有益な知的財産が数多くあるため企業にぜひ活用してもらいたい」とのお話や、

同友会側からは「地域に人を残し地域課題を解決していくために学生との交流の場やさらなる産学連携に繋がる情報交換の場を創りたい」等、有意義な場となりました。

〈参加者感想〉

副代表理事として初めてこのような意見交換の場に参加しましたが、参加してみても今後の展開における個人的な興味・関心は特に二点ありました。一点目は、大学側からの報告から、量産型でないニッチ勝負な中小企業にこそ必要な研究開発との連携をすすめたいというスタンスが感じられたことです。知らなかっただけでオープンな相談窓口も設置されているとのこと、具体的な連携・活用に繋がるのではと思いました。

二点目は、「眠っている特許の活用を」という提案を頂いたことです。過去に取得はしたものの現時点では活躍の場を得ていない特許が少なくないということ、とある特許についての事例説明もありました。中小零細単独では得難いものを呼び覚まし、各社のあらゆる付加価値の向上に活かせるのではと期待の持てる内容でした。

今後ともこうした機会が継続され広く会員の皆さんに周知され、チャンスの構築をしていくことが、学生、同友会会員各社、そして静岡県地域全体にとっても有用なことだろうと新たな可能性と気付きを頂きました。

（有）イーリード 越膳 徹氏

（副代表理事・沼津支部）

障がい者問題委員会オープン勉強会

「誰もが幸せになる」社会を目指し将来を共に考える

2月16日（金） 静岡駅前会議室LINK

全国の同友会では障がい者に限らず誰もが働きやすい社会を目指す活動が広がっています。他県同友会の活動事例を多くの方と学びあうことで、静岡の障がい者問題委員会の活動をさらに活発にすることを目的にオープン勉強会を開催しました。今回は

児童養護施設との関わりに焦点を当て、京都同友会の前川順氏（ジュンブライダル・代表取締役）をお招きし、ご自身の取り組みや京都同友会の活動をお話しいただきました。京都同友会のソーシャルインクルージョン委員会（静岡という障がい者問題委員会）では「誰もが幸せになる」をスローガンに活動しています。前川氏の報告から児童養護施設の子どもについて学ぶとともに、その後のグループ討論では企業と



京都同友会の取り組みについて話す前川氏

して、経営者として何ができるか意見交換を行いました。

当日参加した津賀由布子氏より感想をいただきましたので紹介します。

〔感想〕

京都で長年児童養護施設の子どもたちと交流し続けている前川氏のご自身の思いと取り組みをお話してくださいました。児童養護施設とは、親元で暮らすことが叶わない子どもたちが保護され集団で生活する所、現在はほぼ虐待で保護されています。お話の中で、「施設の子どもたちはマラソンランナーでいうトラック内を走っている状態。施設を出たら公道を走る。給水ポイントがないと走り切れない」という例えがありました。頼ったり、時に甘えたり。人をいかに経営を実践する同友会としてもそんな給水ポイントを作っていきたい、そう強く感じました。また、適職だけでなく適人が大事、というお話も心に刺さりました。この人のそばにいたい、この人と働きたい、その思いは、子どもたちにとって生きていく大きな原動力になるのだと思います。隣人を放っておかない。ともに将来を考える仲間として、地域のおせっかいなおばちゃんでありたいと心を新たにしたい、いい時間となりました。

津賀 由布子氏（有）サンディオス・沼津支部

**女性部第9回ダイヤモンドカレッジ
あととり娘の成長記録**
2月16日(金) (株)松岡カッター製作所

第9回ダイヤモンドカレッジを開催し、静岡市で木工用・金属加工用刃物製造を行う(株)松岡カッター製作所の代表取締役の松岡慶子氏(静岡支部)による報告と企業見学を行いました。

はじめに若手社員の案内のもと、製造現場を見学。その後松岡氏から、入社後につかつた壁と取り組んだことについて報告しました。社内の組織化に向けた幹部社員の教育、給与や各会計書類のデジタル化、また自身が育休を取らず出産後すぐ働かなければならなかった経験から、誰もが育休や時間有休が取れるよう仕組みづくりを進めてきた松岡氏。「同友会でたくさん仲間から多くのことを『GIVE』してもらった。これからも『人を大切にする会社』をめざし、社員と共に歩んでいきたい」と語りました。バズセッションでは、各々どのような壁を乗り越えてきたか、また社内の仕組み化で工夫していることをテーマに語りありました。

次回は4月12日(金)に6月の女性経営者全国交流会で報告する津賀氏のリハールを行います。女性会員&女性経営者・後継者の皆様ご参加お待ちしております。



松岡氏による実践報告

**2月29日(木) オブザーバー
全従業員の物心両面の幸福を
追求し100年企業をめざす!**
2月29日(木) 同友会会議室&ZOOM



勝俣 智史氏

オブザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。2月は御殿場市を中心にものづくり事業と飲食事業を営む(株)フィットコーポレーションの勝俣智史氏(御殿場支部)が報告しました。

後継者として入社するも、リーマンショックにより経営環境は非常に厳しい状況。そんな中、2011年に同友会に入会し、御殿場支部理念の会で経営理念の重要性に気づいた勝俣氏。「会社は社長の器以上にならない」と自分自身の成長と会社の成長を一体として、学び実践し続けています。

報告後は「100年企業をめざすために必要なことはなんですか?」をテーマに討論。激しい環境変化を捉え、時代についていくと同時に、ローカルな視点で地域に必要とされる企業であり続けることが重要であると共有されました。

次回は、3月18日(月)14時より「同友会オリエンテーション【パートⅢ】」を開催します!報告者は寺田亜記子氏(株)ニューウェーブ Airstyle・志太支部)です。皆様のご参加お待ちしております。

**浜松支部50周年記念祝賀会
歴史に感謝し、同友会運動を未来へ繋げる**
2月3日(土) グラントホテル浜松

県同友会と時期を同じくして50周年を迎えた浜松支部。次の50年に思いを馳せ「NEXT50」をコンセプトに記念式典と懇親会の二部構成で記念祝賀会を開催しました。

むけた意気込みをご紹介します。

式典では冒頭に江間省豪実行委員長より挨拶。続いてご来賓の中野祐介氏(浜松市長)、高柳裕久氏(浜松磐田信用金庫理事長)、山本義彦氏(静岡大学名誉教授・静岡同友会顧問)よりご祝辞を頂き、県同友会を代表して松葉秀介代表理事より挨拶を述べました。記念講演では、前浜松市長であり現在は未来共創(株)の代表取締役や山梨県政策顧問、浜松医科大学顧問などを務める鈴木康友氏より「頑張っている中小企業と浜松の未来」をテーマに、市長時代の取り組みと産業の力で発展してきた浜松市の持つ将来性をお話頂きました。懇親会では松平好治氏(日本生命保険相互会社理事・浜松支社長)によるマジックショーもあり、賑やかな雰囲気の中、会員が交流を深める機会となりました。

【実行委員長からのメッセージ】
50周年と大きな節目を迎えるにあたり、祝賀会開催にむけて2022年8月から企画を開始。内容に関して様々な意見がありました。今の浜松支部は比較的会歴が短い会員も多いことから、同友会への理解を深め合うことに重点を置きました。準備にあたり渉外・組織・広報の3つのグループを組織し、支部メンバーが丸となり本番を迎えることが出来ました。当日は支部会員の交流を深めることができ、参加頂いた皆さまには今の浜松支部の雰囲気を見て頂けたことと思います。まだまだ発展途上の我々は、他支部の運動を学び、例会以外の活動も充実させていきます!

心残りは、過去最大の会員数で50周年を迎える目標を達成できなかったことです。しかしながら、今いる会員が新しい仲間を連れてくる気運は高まっているので、最高会勢を達成するのも時間の問題だと確信しております。ご参加頂いた皆さまのおかげで、思い出に残る素晴らしい祝賀会を終えることができ、心より感謝申し上げます。

記念祝賀会の実行委員長を務めた江間氏から今後



支部内外から50名超が集う



江間省豪氏
(三アータマイン(株)・浜松支部)



静岡県中小企業家同友会 祝50周年記念事業
NEXT50フォーラム～誰ひとり取り残さない～

2024年11月28日(木)ホテルグランヒルズ静岡にて開催！！
今からぜひご予約ください！

3月・4月

DOYU CALENDAR

3月16日(土)～4月15日(月)

3月 18日(月)	同友会オリエンテーション【パートⅢ】 (14:00 同友会事務局&ZOOM) 県共育委員会 (18:30 同友会事務局&ZOOM)	27日(水)	県共同求人委員会 Yourlife事業【志太3市】合同 企業説明会(静岡県武道館) 中遠例会(19:00 ワークピア磐田)
19日(火)	中同協幹事会(13:00 ZOOM) 経営労働委員会オープン例会 (19:00 同友会事務局&ZOOM) 志太例会(18:30 曹洞宗 林入寺)	28日(木)	県理事会(15:00 同友会事務局&ZOOM) 県組織増強委員会 (17:30 同友会事務局&ZOOM)
21日(木)	伊東例会(19:00 ひぐらし会館) 沼津例会(19:00 プラサヴェルデ&ZOOM) 富士例会(19:00 ロゼシアター) 榛南例会(19:00 牧之原市商工会)	4月 1日(月)～ 2日(火)	県共育委員会主催 合同入社式・若手社員研修 (10:00 もくせい会館、レイアップ御幸町ビル)
22日(金)	総務財務委員会 (16:00 同友会事務局&ZOOM)	1日(月)	富士宮支部合同入社式 (10:30 志ほ川バイパス店)
25日(月)	中日本ブロック代表者会議in金沢 (13:30 近江町交流プラザ) 県政策委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM) 県共同求人委員会 Yourlife事業【富士山エリア】 合同企業説明会(富士ロゼシアター) 三島例会(19:00 三島商工会議所&ZOOM)	4日(木)	正副代表理事会 (15:00 ZOOMまたは同友会事務局)
26日(火)	県例会企画委員会(18:30 ZOOM) 富士支部オリエンテーション (19:00 富士駅北まちづくりセンター)	9日(火)	静岡総会(18:30 ホテルグランヒルズ静岡)
		10日(水)	御殿場総会 (19:00 御殿場高原 時之栖)
		12日(金)	女性部ダイヤモンドカレッジ (14:00 調整中) 富士宮総会 (18:30 志ほ川バイパス店) 浜松総会 (19:00 浜松市福祉交流センター (予定))



《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》

静岡県中小企業家同友会会費 口座振替のお知らせ

口座振替日/2024年4月8日(月)

振替会費/令和6年度上期会費(令和6年4月～令和6年9月)

振替額/県会費30,000円、支部費(下記の通り)※休会者:県会費15,000円(支部費なし)
(伊東・三島・沼津・富士・富士宮・志太・榛南支部 6,000円、御殿場支部 12,000円)

上記の通り、会費をご指定の口座から振替させていただきますので、ご確認をお願い致します。

なお、領収については、通帳への記帳をもって代えさせていただきます。

納入代行会社は「三井住友カード株式会社」(IHSMBCファイナンスサービス)、通帳印字は「SMBC(ドウユウカイ)」
名で引き落としされますのでご注意ください。

*会費は消費税法基本通達5-5-3に該当する科目のため、不課税となります。

課税仕入れにしないようお願いいたします。

*当会はインボイス発行事業者ではありません。

訃報 1月に静岡同友会会員の片岡康氏(南片岡精肉店 富士宮支部会員)がご逝去されました
謹んでご冥福をお祈りいたします